

利尻礼文サロベツ国立公園に関する評価(検討会・文献・HP調査)

この資料は利尻礼文サロベツ国立公園が検討会、文献、HPなどからどう評価されているかをまとめた資料である。
資料の整理方法は、「利尻」「礼文」「海岸砂丘」「サロベツ」についてそれぞれ

- ①「利用に関する評価」
 - ②「自然環境に対する評価」
- を抽出・整理し、さらに
- ③「利用」と「自然環境」の評価をトータル的にみることのできるキーワードのクロス表
- 最後にデータの基となる
- ④資料一覧を添付した。

実際に評価資料として抽出した文献数

学術論文	4
各種報告書	5
市町村史	9
市町村要覧	7
検討会関係	3
ガイドブック・一般書籍	9

ホームページにおけるヒット状況と採用数

		利尻		礼文		海岸砂丘(林)		サロベツ	
		採用	HIT	採用	HIT	採用	HIT	採用	HIT
観賞	HP	-	23,400	2	19,800	1	427	1	462
	ブログ	-	3	-	6	-	-	-	-
観察	HP	-	32,300	3	33,100	3	7,920	3	10,200
	ブログ	-	3	-	3	-	-	-	-
眺望	HP	-	23,300	-	17,400	-	535	-	694
	ブログ	-	5	-	2	1	1	-	1
登山	HP	1	19,700	-	11,000	-	626	-	354
	ブログ	2	22	-	7	-	-	-	3
ウォーキング ・トレッキング	HP	2	45	3	35	2	8	3	32
	ブログ	-	-	-	-	-	-	-	-
季節を味わう	HP	-	13	1	7	-	-	-	1
	ブログ	-	-	-	-	-	-	-	-
オリエンテーリング	HP	-	63	1	57	-	70	1	6
	ブログ	-	1	-	1	-	-	-	-
キャンプ	HP	-	65,000	1	42,900	-	3,390	-	19,000
	ブログ	1	10	-	13	-	-	-	1
(参考) 地域名のみ	HP		1,110,000		726,000		42,100		131,000
	ブログ		1,189		1,028		1		87

※各項目とも、検索結果上位から優位なものについて概ね5件以内で採用 ※HP検索は「Yahoo!」、ブログ検索は「Livedoor」を使用。(5/11現在)

「利尻」の利用に対する評価

キーワード	プラス評価	マイナス評価
観賞	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻富士を映す湖沼と自然を巡るぐるっと一周(10) ・ほとんど歩くことなくポイントをめぐることができます(14) ・東西南北から利尻山を走馬燈のように観賞できる(12) 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の花の観察(6) ・海岸線の植物も豊か(7) ・高山植物や野鳥のさえずりなどが楽しめる(8) ・海拔0mから山頂までの高度の変化に伴う生物の垂直分布(9) 	
眺望	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻一周道路から沿道の景観を楽しむ(1) ・北方海上に浮かぶこの島の火山地形の特色(9) ・島の中央に凛々しくそびえる名峰、清冽な清水、湖沼群や、峻厳な奇岩を眺め(10) ・山や植物に憧れずして、観光施設を求める人間の行くべき所ではない(12) ・思切り長く裾を引いた山形は美しい極み(16) ・山頂に着かれ「利尻富士」からの雄大な眺望を満喫(17) 	
登山	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を味わう最もよい方法は、利尻の登山道などを歩くこと(1) ・鵜泊から2時間足らずで登れるボン山には、自然探勝路があって推奨に価する(11) ・登山コースとしては、中級者向きコース、上級者向きコースの2つ(12) ・尾根のお花畑に咲く高山植物を楽しまれ(登山された)(17) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春遅くまで氷雪が残り、初秋から頂きが凍結し、道内でも最も厳しい山の一つ(2) ・登山口から山頂まで途中の避難小屋も含め、水場やトイレが一切ない(2) ・携帯トイレの使用割合(例:利尻で13%程度)(3) ・山の中に水場はありません(12) ・8合目より上では浸食が進んでおり、落石も頻繁に起こるので注意が必要(12) ・近年登山客のし尿被害が深刻となっています(12) ・小屋の内部も結構荒れていましたね(19) ・下りはお約束の転びながらの転がりながらでした(20)
ウォーキング ・トレッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園内にはトレッキングエリアが設けられている(6) ・「姫沼」周囲には散策路が整備され(8) ・自動車も通れるほどの広いサイクリング専用道路(13) ・サイクリング道路用に立派な橋まで作ってある(13) ・一般道も夏の繁忙期ながらほとんど車はなく、快適なサイクリング(13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタカーは島内の台数が限られているためオンシーズンには予約が必要(14)
季節を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の花、森林浴、散策、バードウォッチングも楽しめる(6) ・「姫沼」では、高山植物や野鳥のさえずりなどが楽しめる(8) 	
オリエンテーリング		
キャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・「沓形岬公園キャンプ場」は、海岸美に恵まれたビューポイントで、植物も豊富(7) ・「利尻町森林公園キャンプ場」は、手つかずの自然を存分に満喫できる自然公園(6) 	

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「利尻」の自然環境に対する評価

植物	<ul style="list-style-type: none"> ・1000m以上の地点のお花畑は奇岩と共に心を魅了する(4) ・利尻の植物は利尻の名を冠するものが多く、その中に固有植物、隔離分布植物、最初に名付けられた植物がある(5) ・植物相は北海道本島とは一定程度異なる(9) ・リシリヒナゲシなど、島固有の草花が見られる世界的に貴重な植物の宝庫(14) ・本州では高山帯でしか見られない花も平地で見られる(14) ・標高1000m以上のお花畑をみごとである(15) ・ガレ場枯れ沢など生物の住みにくい環境のなか利尻の植物はたくましく生きている(17)
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・両生類は1種、爬虫類は生息していない(6) ・鳥相は国内最北部、島など地理的条件から特徴があり、海洋から山岳まで多様な環境が存在するため豊富な鳥相がある(8)
地理	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻山を中心とし、緩やかな裾野を引く標式的火山島(1) ・特に利尻山頂上部が急峻(2) ・単体火山として利尻島は種類に富んでおり、お花畑と相まって日本における最も愉快的な地と嘆賞された(3) ・1000m以上の地点のお花畑は奇岩と共に心を魅了する(4) ・島全体が頂点に向かっている海上の山は利尻山だけである(12) ・海中から毅然とそびえ、海岸線から頂上まで登山道である利尻山は誇りにすべき山(16) ・利尻島の奇岩、巨岩、険しい地形から島であることを忘れてしまう(17)
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻山は方向を問わず海陸何所より見ても見事である(1) ・山頂からの雄大な景観は絶賞に値する(2) ・単体火山として利尻島は種類に富んでおり、お花畑と相まって日本における最も愉快的な地と嘆賞された(3) ・快晴の日の山頂からの展望は我が国でもユニークなものだ(4) ・島全体が頂点に向かっている海上の山は利尻山だけである(12) ・地形・地質・動植物が特異な北方景観を構成している(13)
生態系	-

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「利尻」に関する評価キーワードのクロス表

「自然環境」と「利用」の評価資料をもとに作成

利用 自然環境	観賞	観察	眺望	登山	ウォーキング ・トレッキング	季節を味わう	オリエン テーリング	キャンプ	その他
植物		・植物の豊かさ ・海岸線の植物 ・植物の標高別分布		・山にあるお花畑		・高山植物			
動物		・野鳥				・野鳥			・両生類 ・爬虫類
地理	・緩やかな裾野		・長い裾野山形 ・火山地形 ・奇岩巨岩	・登山道 ・ <u>厳しい山</u> ・ <u>頂上付近の険しさ</u>					
景観	・利尻山の景観		・沿道からの景観 ・北方景観 ・山頂からの眺望						
生態系									
その他			・湖沼群	・ <u>水場トイレ</u>	・トレッキングエリア ・サイクリング ・ <u>レンタカー</u>			・キャンプ場の自然	

※表中下線は「マイナスの評価」を表す。

利用に対する評価調査資料一覧(利尻)

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード			
1	ガイドブック	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	景観を味わう最もよい方法は、利尻の登山道などを歩くことだが、車利用でも、利尻一周道路から沿道の景観を楽しむことができる。	登山	眺望		
2	ガイドブック	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	春は遅くまで氷雪が残り、秋も早いころから頂上が凍結し、道内でも最も厳しい環境にある山の一つといえる。登山口から山頂まで途中の避難小屋も含め、水場やトイレが一切ない。行動は朝発ち、昼過ぎには下山という計画を立てることが基本だ。	登山			
3	検討会議論	第4回 山のトイレを考えるフォーラム記録	2003.2.1		「山のトイレ」が日本中で問題になっている中、本フォーラムでは携帯トイレの使用割合(例:利尻で13%程度)や料金(無償配布か有料か)、あるいは将来に向けてバイオトイレの設置を行うかについて議論した。	登山			
4	ガイドブック	利尻シーズンカレンダー		利尻町HP	利尻の季節ごとの情報を紹介します。 5月…少々肌寒いですが、残雪でのレクリエーションが楽しめる 6月…花々が開花する時期。下旬にはウニ漁が解禁となります。 7月…たくさんの花が楽しめる季節。観光シーズンも本番で美しい花々とすばらしい景観を堪能してください。 8月…観光シーズンの最盛期です。特に上旬は海・山・天候ともにGoodです。 9月…さわやかな機構と抜けるような青空はまさにナチュラルアイランド 10月…いよいよ寒い季節の到来です。	観察	季節		
5	ガイドブック	利尻島	2004	利尻町	利尻町杵形の運動公園から利尻富士町鷺泊・野塚展望台までの約25kmの間、サイクリングロードが整備されている。	サイクル			
6	パンフレット	利尻島	2004	利尻町	利尻町杵形の「利尻町森林公園キャンプ場」は、手つかずの自然を存分に満喫できる自然公園で、園内にはトレッキングエリアが設けられており、四季折々の花の観察や森林浴、散策、バードウォッチングも楽しめる。	観察	トレック	森林浴	季節
7	パンフレット	利尻島	2004	利尻町	「杵形岬公園キャンプ場」は、海岸美に恵まれたビューポイントで、付近には海岸勢の植物も豊かである。	観察	眺望	キャンプ	
8	パンフレット	利尻島	2004.11	利尻富士町商工観光課	「姫沼」は原生林に囲まれた周囲1キロほどの湖で、周囲には散策路が整備され、高山植物や野鳥のさえずりなどが楽しめる。	観察	森林浴	散歩	
9	ガイドブック	利尻・礼文・サロベツの自然観察	1996.6	(財)日本自然保護協会	利尻島は美しい海岸線と雄大な利尻山、それに二つの沼があり、多様な自然が楽しめます。北方海上に浮かぶこの島の火山地形の特色や、海拔0mから山頂までの高度の変化に伴う生物の垂直分布などに注意しながら観察しましょう。	観察	眺望		
10	雑誌	るるぶ	2006.3.1	JTBパブリッシング	利尻富士を映す湖沼と自然を巡るぐつと一週利尻島めぐり「利尻島」とはすなわち利尻富士である、と言ってよい。島の中央に凛々しくそびえる名峰、その山嶺に湧き出す清冽な清水、その水が作り出す姫沼やオタマリ沼などの湖沼群や、峻厳な奇岩を眺めながら利尻富士を巡ろう。	トレック	鑑賞	眺望	
11	報告書	最北の秘境-国立公園利尻礼文サロベツ	1974	宗谷観光連絡協議会編集委員会	鷺泊から2時間足らずで登れるポン山には、自然探勝路があつて推奨に価する	登山			
12	ガイドブック	利尻・礼文両島の高山植物とその景観	1974.7.1	利尻・礼文の自然を守る会	利尻島を一周することによって東西南北から利尻山を走馬燈のように觀賞でき、その秀麗さに感嘆せぬ人は無い。(中略)けれども山や植物に憧れずして、観光施設を求める人間の行くべき所ではない。	観察	鑑賞		
13	HP	個人HP		個人HP	(前略)こんな立派な利尻島自転車道(24.9km)があるなんて島へ行くと決めるまで知りませんでした。自動車も通れるほどの広いサイクリング専用道路。サイクリング道路用に立派な橋まで作ってあるから、驚き。一般道も夏の繁忙期ながら、ほとんど車はなく、快適なサイクリングを美しい景色と一緒に楽しめました。	サイクル			

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード			
						鑑賞	サイクル	ドライブ	
14	HP	個人HP		個人HP	利尻の旅の一般的なコースはレンタカー、レンタルバイク、自転車での島一周です。港には幾つかのレンタルショップがありすぐにバイク、自転車は借りることができますがレンタカーは島内の台数が限られているためオンシーズンには予約が必要です。一周52kmで途中見所が随所にあり、まる一日楽しめます。礼文島は歩くことが必要なポイントが多いのに対し、利尻島はポン山のハイキングコースを除くとほとんど歩くことがなくポイントをめぐることができます。北海道の離島の中で利尻島は最も便利な島でもあるのです。	鑑賞	サイクル	ドライブ	
15	HP	さわやか自然百景(NHK HP)		NHK	「日本百名山」の一つ。登山コースとしては、中級者向けの鷲泊コース、上級者向けの沓形コースの2つがあります。いずれも単独登山を避け、コース経験者と登るようにしたいものです。山の中に水場はありません。麓で水を補給した後、登山口で登山届けを出してから登ります。8合目より上では浸食が進んでおり、落石も頻繁に起こるので注意が必要です。足下もかなり滑りやすいので、登山靴はじめ本格登山の装備が必要です。また、近年登山客のし尿被害が深刻となっています。登山時には、役場や宿などで配布している携帯トイレを忘れないようにしましょう。	登山			
16	市町史	利尻町史通史編	2000.03.31	利尻町	大正十二年五月十八日、小樽新聞は小樽新聞社創立三十年発行一萬号を記念して読者投票によって高票入選の三ヶ所に記念の三景碑を建てるために「北海道三景」景勝地が募られた。～中略～ 最高位となった「利尻富士は愉快な山 思切り長く裾を引いた山形は美しい極み」として、八月二十日の小樽新聞に利尻山の素晴らしさが紹介された。(P.597)	登山	眺望		
17	市町史	利尻町史通史編	2000.03.31	利尻町	名水と絶景 利尻で満喫 浩宮さま(朝日新聞 昭和六十一年八月二十二日)利尻島でお泊まりになった浩宮さまは ～中略～ 尾根のお花畑に咲くリンドウやタカネオミナエシなどの高山植物を楽しみつつ、夜間登山から下山の若者たちと快く記念写真におさまるなどされた。午前十時半すぎ山頂に着かれ「利尻富士」からの雄大な眺望を満喫され、沓形コースから利尻町へと下山された。(P.626)	登山	眺望		
18	ブログ				上り坂約4キロは徒歩では辛いかも	登山			
19	ブログ				長官山避難小屋で昼食を取りました。当初この小屋に泊まる予定でしたが、トイレはなし。脇に回ると白い紙の花がたくさん咲いていました。小屋の内部も結構荒れていましたね。 無事山頂到着も北海道本島側は何も見えませんでした。山頂近くは大きな火山弾がびっしり登山道を埋め尽くしていたことが記憶に残っています。それから下りの長かったこと、長かったこと。	登山			
20	ブログ				最北の百名山です。島の真ん中にあるこれこそホントの360度パノラマです。でもこいつも登り6時間の下り4時間の10時間って聞いたので、朝4時スターです。しかもほぼ0mから登ったんで、疲れた。疲れた。下りはお約束の転びながらの転がりながらでした。でもここもキャンプ場の前が温泉です。はあああ～、こいつは止めらんね～ね。	登山			

自然環境に対する評価調査資料一覧(利尻)

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード				
						植物	動物	地理	景観	生態系
1	報告書	利尻・礼文・サロベツの自然	1974.01	北海道	利尻島は北海道本島北端の四方日本海中にあり、利尻山(1,718m)を中心としその四周海面に至る間ゆるやかな裾野をひく標式的火山島である。その形状よりして利尻富士の名によって知られているが、明治の初期には北見富士と称されていた事が文献に載せられている。リシリはもとアイヌ語リィシリより転じたもので高い山のある島の義に外ならず名はよく体を表している。利尻山は方向を問わず海陸何所より見ても誠に見事であるが、特に美しい全貌を一目に収め得られる点においては、遠くしては宗谷本線抜海附近、近くしては礼文島香深附近よりの眺めが最も優れたものとされている。(P.1~2)			○	○	
2	報告書	利尻・礼文・サロベツの自然	1974.01	北海道	利尻山は文字通り直接海を抜くものであり、殊に頂上部が急峻なので登山は中々困難のものの一つであるが、一度その最高点に達すれば、足下に展開する広い裾野と島を取巻く海を距てて、礼文島更に遠い北海道本土の山々をも一望の内におさめる事が出来て、その雄大な景観は誠に絶賞に値するものがある。(P.3)			○	○	
3	報告書	利尻・礼文・サロベツの自然	1974.01	北海道	単体火山として利尻島は種類に富んだ山岳であり、お花畑も壮麗である。かつて北海道の深山幽谷を探ったFAURIE氏が三度本山を探り、日本における最も愉快な採取地と嘆賞した。(P.8)			○	○	
4	報告書	利尻・礼文・サロベツの自然	1974.01	北海道	利尻は単火山として種類の豊富なことでは北日本で代表的なところである。殊に1,000m以上の地点には随所に清雅なお花畑があらわれ、怪奇をきわめた岩峯と共に心を魅するであろう。礼文のお花畑は西海岸の断崖上を中心に発達する。海霧に明滅する壮麗なお花畑が所々に展開し、利尻山容の豪宕さは優美の一言につきる。しかも海洋中に孤立した島として、快晴の日の展望はわが国でもユニークなものといつてよいであろう。一方冬期登山の醍醐味は、これまた独自のものとうたわれている。(P.14)	○		○	○	
5	市町史	利尻富士町史	1998.3	利尻富士町	利尻島の植物には「利尻」の名を冠するものが多い。その中には①世界で利尻島に限られる固有植物、②日本で利尻島だけ飛び離れて見られる隔離分布植物、③利尻島で最初に名付けられた植物が含まれる。	○				
6	市町史	利尻富士町史	1998.3	利尻富士町	本島に生息している両生類は現在アカガエルだけである。本島には爬虫類が全く生息していない。地温が低く、卵生の爬虫類は繁殖できないものと推察される。イタチは1868年頃まで北海道本島にも生息していなかった。利尻島には人為的に移入したものである。		○			
7	市町史	利尻町史通史編	2000.03.31	利尻町	・・遠方に、私はもう一つの島を認めた。その島は、頂上に雪をかぶった山が、ちょうど島の中央にそそり立っているようにみえた。雪は頂きから少し下までかかっていた。それは古い雪だった・・(マクドナルド『日本回想記』、一九八一年、刀水書房、六九頁)(P.3)			○	○	
8	市町史	利尻町史通史編	2000.03.31	利尻町	利尻島の鳥相は国内最北部に位置すること、鳥嶼であることなどの地理的条件などから大きな特徴がある。環境的にも海洋から山岳までの様々な環境が存在し、その状態も比較的良好に保存されており、豊富な鳥相を形成している。(P.58)		○			
9	市町史	利尻町史通史編	2000.03.31	利尻町	利尻島の植物相に関してはこれまでもいくつかの断片的な報告があるが、最も包括的な目録は松野(一九八四)のものである。～中略～すなわち利尻島の植物相はいくつかの特異な植物群を擁しており、北海道本島とは一定程度異なっているのである。(P.75)	○				

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード				
						植物	動物	地理	景観	生態系
10	市町史	利尻町史史料編	1989.03.31	利尻町	八月上旬ハ恰モ百花爛漫ノ候ニ際シ各固有ノ花ヲ開キ其色ハ黄紅、白、紫一種ノ光彩を放テリ ~中略~ 蠟燭岩ト称ス其小ナルモノ処々に屹立セリ実ニ峻威莊嚴天ニ冲ルノ概アリ(P.98 利尻山観測記(明治三十年、北海道庁)より抜粋)			○	○	
11	市町史	稚内市史	1999.01.31	稚内市	秀峰利尻富士(一七二メートル)のほか、姫沼・オタマリ沼・ベシ沼・ボンモシリ・夕陽ヶ丘展望台、原生花園など海・山・湖・花など手つかずの自然に魅力があふれている。(P.968)				○	
12	一般書籍	日本百名山	1964	深田久弥	島全体がひとつの頂点にひきしぼられて点に向かっている。こんなみごとな海上の山は利尻山だけである。			○	○	
13	ガイドブック	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	この公園の景観の特色は、日本最北の離島である利尻・礼文両島の地形・地質・動植物が特異な北方景観を構成していること、(中略)にある。				○	
14	ガイドブック	登山ガイド	-	利尻町 利尻富士町	花の島として知られる利尻島はリシリヒナゲシなど、島固有の草花が見られる世界的に貴重な植物の宝庫です。高緯度や気象などの環境からエゾカンゾウなど、本州では高山帯でしか見られない花も平地で容易に見ることができ、特に標高1,000m以上にはボタンキンバイやハクサンイチゲなどの群生が随所に点在しています。	○				
15	ガイドブック	最北の秘境 -国立公園 利尻礼文サ ロベツ	1974	宗谷観光連 絡協議会編 集委員会	利尻では標高およそ、1000m以上に本格的なお花畑がひらけるが、特に黄金色の大型な花を咲かせるボタンキンバイを種とする草原お花畑はみごとである。	○				
16	ガイドブック	利尻・礼文 両島の高山 植物とその 景観	1974.7.1	利尻・礼文 の自然を守 る会	どうぞ全体余すことなくご覧くださいと海中に毅然としてそびえる富士はない。海岸線から1719m全部の高さが登山道という富士はない。この点についてはまさに誇りとすべき富士である。			○		
17	HP	さわやか自然百景	-	NHK	しかし、その姿は、日本の山の中でもとりわけ陰しく、数百メートルにも及ぶ断崖絶壁、鋭く尖った奇岩、巨岩の数々。山に一步は入り込むと、そこは島であることを忘れてしまうようなけわしい地形が展開する。 また、利尻島には川がほとんどない。降り注いだ雨や雪解け水は、山を下る途中で地中に染み込み、伏流水となる。そのため沢はほとんどが枯れ沢となり、莫大な量の石と砂が埋め尽くす。山頂付近のガレ場、いく筋ものかれ沢など、一見、生物が住みにくい環境の中でも、利尻の植物はたくましく生きている。	○		○		

「礼文」の利用に対する評価

キーワード	プラス評価	マイナス評価
観賞	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を味わう最もよい方法は、礼文島の西海岸などを歩くこと(2) ・寒地植物群落の観察を通して、きびしい自然環境に目をむけてみましょう(3) ・(花畑は)特に、気象条件のきびしい西海岸に広がっています(3) ・本州のアルプスでしか見られない花々を、登山をしなくても気軽に見られる(8) ・礼文島でしか見られない固有種の花が多いのも特徴(8) ・運動靴だけで、老若男女・少年少女に至るまで全島の植物を観賞できる島(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人は混む7月8月に来ますが、花には必ずしも盛りではありません(11)
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥観察の人気スポットにもなっています(7) ・遊歩道のそばにはミズバショウの群生地もあり、間近で観察できる(7) 	
眺望	<ul style="list-style-type: none"> ・遠景に浮かぶ利尻山の姿とあいまってさながら夢の国(2) ・花と奇岩の絶景を求めて行く、花の浮島礼文島めぐり(5) ・この島には多くの絶景があり、これらを満喫するだけでも、十分に楽しい(9) ・最北の澄んだ海・澄んだ景色を見るだけでもこの島を訪れる価値はあります(11) 	
登山		
ウォーキング ・トレッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・湿性植物の観察ができる1周4kmの遊歩道(7) ・島の本当の魅力は歩いていけないところに多くある(11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多少は自らの足で歩く覚悟が必要(9)
季節を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・礼文島が花で埋め尽くされるような季節(1) 	
オリエンテーリング		
キャンプ		<ul style="list-style-type: none"> ・犬連れキャンパーは礼文島へは来るな、という(10)

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「礼文」の自然環境に対する評価

植物	<ul style="list-style-type: none"> ・日本アルプスでも珍しい植物が、海岸近くで生じているという特徴を持つ(2) ・西海岸における寒地高山植物群落の発達是我が国として特筆すべきもの(2) ・海岸から高山植物があるという、氷河期のレリックの非常に良く残ったという意味で特徴がある。(3) ・お花畑は西海岸断崖上に発達し、種類が豊富な点で北日本の代表(5) ・アツモリソウ属は保全が必要だが、自生地の個体数激減が深刻な問題(6) ・礼文島の魅力は高山植物で、至るところで花を付けている(7) ・植物学上、風景美論上、特に留意しなければならない島(8) ・本州では2000m級の高山でしか見られない花も多い(10) ・低い丘であっても森林限界を超えるとみられるような笹が一面に広がっている(11) ・島の厳しい気象条件に適応し、島特有の植生が形成された(13)
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・礼文島が野鳥の宝庫であることはあまり知られていない。野鳥の見られる場所も、生態も多種多様である(12)
地理	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻島と8kmしか離れていないが、輪郭、地形、地質等において両島が全く趣きを異にしている点は興味深い(1) ・西海岸の奇岩、岩礁、断崖は独特な景観を有する(2) ・奇岩怪石がそそり立つ西海岸は、知床などと共に日本最後の秘境とされている(4) ・西の海岸線の荒々しさとその上の緑の丘が広がる光景は特異だ(11)
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・西海岸の奇岩、岩礁、断崖は独特な景観を有する(2) ・奇岩怪石がそそり立つ西海岸は、知床などと共に日本最後の秘境とされている(4) ・奇岩と壮麗なお花畑、利尻山容の豪宕さは優美の一言につきる(5) ・植物学上、風景美論上、特に留意しなければならない島(8) ・地形・地質・動植物が特異な北方景観を構成している(9)
生態系	

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「礼文」に関する評価キーワードのクロス表

「自然環境」と「利用」の評価資料をもとに作成

利用 自然環境	観賞	観察	眺望	登山	ウォーキング ・トレッキング	季節を味わう	オリエン テーリング	キャンプ	その他
植物	・寒地高山植物 ・海岸から高山植物		・花			・花の季節			・笹 ・固有種の保全
動物		・野鳥							
地理	・西海岸		・奇岩						
景観	・西海岸の景観 ・北方景観		・利尻山 ・奇岩			・花の季節			
生態系									
その他	・ <u>シーズンの混雑</u>	・遊歩道からの観察	・澄んだ海		・遊歩道 ・ <u>自ら歩く必要</u>			・ <u>ペット</u>	

※表中下線は「マイナスの評価」を表す。

利用に対する評価調査資料一覧(礼文)

整理番号	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード			
					トレック	鑑賞	眺望	
1	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	景観を味わう最もよい方法は、礼文島の西海岸などを歩くことだ。	トレック			
2	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	礼文島が花で埋め尽くされるような季節にこの公園を訪れたら遠景に浮かぶ利尻山の姿とあいまってさながら夢の国を訪れたような錯覚を覚えるかも知れない。	鑑賞	眺望		
3	利尻・礼文・サロベツの自然観察	1996.6	(財)日本自然保護協会	この島は高木が少なく、島全体がお花畑と言っても言い過ぎではありません。特に、気象条件のきびしい西海岸に広がっています。本州方面では数千mの高山地帯でなければ見ることのできない高山植物も高緯度にある礼文島では海岸線から咲き乱れています。そこで、これらの植物は高山植物のかわりに寒地植物と呼ばれます。ここに生育する寒地植物群落の観察を通して、植物をとりまくきびしい自然環境に目をむけてみましょう。	観察	鑑賞		
4	日本の大自然-利尻礼文サロベツ国立公園	1995.5.15	毎日新聞社	ビュー・スポット-礼文島-花の浮島と呼ばれるほど高山植物の宝庫で、本州では2000級の山に登らなければ見られないような美しい花を、海岸部で見ることができます。	鑑賞			
5	るるぶ	2006.3.1	JTBパブリッシング	花と奇岩の絶景を求めて行く、花の浮島礼文島めぐり-礼文島は海拔0mから貴重な高山植物が咲く花の浮島。ここでしか出会えない花もある。青い海を隔ててそびえる利尻山の絶景や、切り立つ海岸の断崖、ユーモラスな奇岩などを眺めながら、初夏の礼文を歩こう。	トレック	鑑賞	眺望	
6	利尻・礼文両島の高山植物とその景観	1974.7.1	利尻・礼文の自然を守る会	運動靴だけで、老若男女・少年少女に至るまで全島の植物を観賞できる島は世界にも珍しいのではなかろうか。	トレック	鑑賞		
7	個人HP		個人HP	久種湖は島唯一、日本最北の湖。南側の湖畔は湿地が広がり、湿性植物の観察ができる1周4kmの遊歩道が設けられています。遊歩道のそばには、ミズバショウの群生地もあり、間近で観察することができます。礼文は、渡り鳥の中継地としても知られ、遊歩道周辺は野鳥観察の人気スポットにもなっています。	観察	散歩	鑑賞	
8	個人HP		個人HP	本州のアルプスや北海道の大雪山系でしか見られない花々を、登山をしなくても気軽に見られるのが、礼文の魅力。また、レプンアツモリソウやレプンコザクラ、レプンキンバイソウ、レプンウスユキソウなど、礼文島でしか見られない固有種の花が多いのも特徴です。	観察	トレック	鑑賞	
9	個人HP		個人HP	(中略)この島には、多くの絶景がありますので、これらを満喫するだけでも、十分に楽しく、心が洗われるような休日をごせせと思います。但し、そのためには、多少は自らの足で歩く覚悟が必要です。(後略)	トレック			
10	個人HP		個人HP	(中略)ビックリして確認の電話をしてみたところ、冷たい口調で「ベットは禁止しています」と言い放たれてしまった。ため押しで、「もう一ヶ所のキャンプ場もベットは禁止されています」との言葉だ。 礼文島にはキャンプ場は2ヶ所しかない。これでは、犬連れキャンパーは礼文島へは来るな、ということではないか。そんな馬鹿な話があるのか。(後略)	キャンプ			
11	個人HP		個人HP	(中略)この島を訪れようとする方は何を期待してこの島に来るのでしょうか。やはり花でしょうか。 しかし花が咲く時期は非常に限られています。多くの人は混む7月8月に来ますが、花には必ずしも盛りではありません。運悪く花のない時期に来てしまった人は、スコトン岬とかきれいどころを見て帰ってもいいかもしれません。最北の澄んだ海・澄んだ景色を見るだけでもこの島を訪れる価値はあります。 この島を観光バスで回る人がとても多いです。とりかかりとしてはいいと思いますが、この島の本当の魅力は歩いていけないところに多くあります。できたら歩いてみましょう。自然の美しさはなんでもないとこにも多く隠れていますから。	観察	散歩	季節	鑑賞
12	個人HP		個人HP	(中略)礼文島には、確かにエビイワナがウジャウジャ棲息していました。が、、、小さな溪流に10cm程のイワナばかりでした。余りにも数が多過ぎて大きくなれないのかと思っちゃいましたよ。 アメマスが遡上する時期にマッチすれば釣れると思うが、やはり観光旅行をお薦めします。(後略)	生物採取	川遊		

自然環境に対する評価調査資料一覧(礼文)

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード				
						植物	動物	地理	景観	生態系
1	報告書	利尻・礼文・サロベツの自然	1974.01	北海道	礼文島は稚内の西方海上45kmの所に横たわるもので、本邦最北の島として知られている。レブン島の名はアイヌ語レブンシリより来たもので、沖の島の意を示している。その東南にある利尻島とは僅か8kmを距てているに過ぎないに拘わらず、輪郭は勿論、地形、地質更に生成時期等において両島が全く趣きを異にして居る事は興味深い。(P.4)			○		
2	報告書	利尻・礼文・サロベツの自然	1974.01	北海道	日本アルプスでも珍しいとされているウラジロキンバイ、チョウノスケソウ、ミヤマムラサキ、ウルップソウなどが礼文島で海岸近くに生じているのも面白いし、また礼文の寒地高山植物を植物分布学的に見てゆくと、利尻と趣を異にしている。(中略) ともかく礼文島西海岸における寒地高山植物群落の発達というものは、わが国として特筆すべきものがあり、かつ西海岸の奇岩、岩礁、断崖も北方の風物として特筆に値する独特の景観を有している。(P.14)	○		○	○	
3	検討会議論	第2回世界自然遺産候補地検討会	2003.3.25	-	礼文島は、ご承知のように海岸から高山植物があるという、全体が氷河時代のツンドラの生きた化石みたいな…。そういう意味では、さっき世界的に見た場合どうかという話になりましてけれども、もしかしたら氷河期のレリックの非常に良く残ったという意味では、あまり他に事例がないので、特徴としてはかなりアピールできるかもしれないという長所があると思います。	○				
4	市町史	稚内市史	1999.01.31	稚内市	礼文岳(四九〇メートル)を最高峰にいただき、レブンアツモリソウ、エーデルワイスなどを代表とする高山植物が咲き乱れ、その種類は三〇〇を超える。桃岩・猫岩・地蔵岩などの奇岩怪石がそそり立つ断崖絶壁の西海岸は、知床などととも日本最後の秘境とされている。(P.968)	○		○	○	
5	市町史	礼文町史	1972.09.10	礼文町	礼文島のお花畑は西海岸を断崖上を中心に発達し、種類の豊富なことでは、北日本で代表的であり、殊に怪奇をきわめた岩峯と海霧に明滅する壮麗なお花畑が所々に展開し、しかも海洋中に孤立する利尻山容の豪宕さは優美の一言につきる。日本アルプスでも珍しいとされているウラジロキンバイ、チョウノスケソウ、ミヤマムラサキ、ウルップソウなどが本島では海岸近くに生じているのも特徴である。(P.61)	○			○	
6	一般書籍	生物多様性緑化ハンドブック	2006.3.1	(株)地人書館	わが国において、アツモリソウ属植物は絶滅がきざされ保全が必要とされている植物であるが、園芸植物として人気が高いため、山採りによる自生地の個体数激減が深刻な問題となっており(後略)	○				
7	一般書籍	日本の大自然-利尻礼文サロベツ国立公園	1995.5.15	毎日新聞社	礼文島の魅力は高山植物です。「花の浮島」という別名があるように、島内のいたるところに高山植物が可憐な花をつけています。	○				
8	一般書籍	北見礼文島植物概説	1934	北海道景勝地協会	北海道本島をめぐって植物学上より、又、風景美論上よりも特に留意しなければならない三島がある。即ち、北見礼文島、同利尻島及南千島色丹島がこれである。(中略)筆者は単に景勝を持つてのみならず、植物学上より是等の諸島を世に送り、受くべき保護を受けることを切望する。	○			○	
9	ガイドブック	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	この公園の景観の特色は、日本最北の離島である利尻・礼文両島の地形・地質・動植物が特異な北方景観を構成していること、(中略)にある。				○	
10	HP	個人HP	-	個人HP	最果ての雄大な自然に育まれた約300種類の花々が咲き競う礼文は、別名「花の浮島」とも呼ばれています。本州では2,000m級の高山でしか見られない花も多く、開花が始まる6月から8月にかけて、多くの旅人が礼文島を訪れています。	○				

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード				
						植物	動物	地理	景観	生態系
11	HP	個人HP	-	個人HP	(中略)高緯度であるからだろうか。この島では低い岡の上であっても、森林限界を越えるとみられるような、笹が一面に広がっている。また西側の海岸線は荒々しく侵食され、その上には緑一面の岡が広がる光景も特異的だ。気候を反映してか育つ植物も高山のものに近いようで、一面が淡く花の色に染まる初夏は一段と美しいとのことである。	○		○		
12	HP	個人HP	-	個人HP	「花の浮島」として全国的にも有名な礼文島。その礼文が、実は野鳥の宝庫でもあることはあまり知られていないようです。数えてみましたら、取材に訪れた10日間だけで撮影できた鳥は23種類。確認しただけのものも入れると、50種類近い鳥と出会うことが出来ました。体が大きく、動きもゆっくりしていて観察しやすい湖の鳥、見つかるまでがたいへんですが、ちょこちょこした動きが愛らしい森の小鳥、猛きん類やカラスとの攻防に緊張感がある断崖の海鳥たちなど、見られる場所も生態も多種多様です。		○			
13	HP	さわやか自然百景	-	NHK	植物達は一万年という時間をかけて、島の厳しい気象条件に適応し、この島特有の植生を形作ってきた。強風でわずかな土も吹飛ばされるという環境の中で、生き抜いているのはいわゆる「高山植物」の仲間たち。海辺にハマナスと、エーデルワイスの仲間ウスユキソウが隣り合わせに咲くこともある。また、寒さから身を守るために体中に産毛をまとい、あるいは風をしのごうために地中深くに根を張るなど、この島固有の姿に変化を遂げた植物も多い。	○				

「海岸砂丘」の利用に対する評価

キーワード	プラス評価	マイナス評価
観賞	<ul style="list-style-type: none"> ・風と戯れて微妙に変化する砂丘と花々の饗宴(2) ・ミズナラ林に覆われた海岸砂丘が細長く連なり、その中には多くの沼が点在(4) ・砂丘林の中に点在する湖沼群も含め、その生物相には特筆すべきものが多い(5) ・海岸沿いに咲く花もいい(7) ・海面から吹き上げる塩風のため一様に東になびいている柏の木(8) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コウホネの家以外は何も無いと言って良いだろう(11) ・その存在を知る来訪者は少ない(5)
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な環境に生息する多彩な野生動物たちが観察できます(1) ・抜海港で寝ころぶゴマフアザラシ(3) 	
眺望	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の中でも1、2を争う景勝地(2) ・利尻がシルエットとなって浮かび上がる夕日(7) ・海岸に最も接近している防風林(8) ・日本海の利尻富士・礼文島と夕日が見られる(9) ・日本海の夕日の名所(10) ・日本海の風景百選(10) ・人工物や視界を遮るものが全くない(12) ・日本海に浮かび上がる利尻富士など(12) 	
登山		
ウォーキング ・トレッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・冬は、夏に入れない場所も散策できるプログラム有(3) ・道路を車で走るだけでも感動を味わえ(11) ・海岸沿いになだらかに続く人気のドライブコース(12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・散策路も整備されていないくて、ほとんどが立入不可能な場所(4)
季節を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・春ともなればすばらしい花見の場所(8) 	
オリエンテーリング		
キャンプ		

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「海岸砂丘」の自然環境に対する評価

植物	<ul style="list-style-type: none"> ・トドマツ、エゾマツなど緑豊かな森林を持つ(2) ・こうほね沼に道北で貴重なネムロコウホネが確認(3) ・トドマツを主体とした北国特有の針・広混交林を形成(6) ・海岸砂丘林の中でとりわけ目に付くのが、最前列のミズナラ林(9)
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・オジロワシが繁殖しており、優れた自然環境が保存されていることを示す良い指標である(4)
地理	<ul style="list-style-type: none"> ・砂丘林内の湖沼群は水位低下による湖沼面積の減少や消失等の恐れがある(1) ・林内には無数の湖沼が散在し、踏み入ることが困難なため、静寂な秘境が保たれている(6) ・長大な海岸砂丘とその上に成立した砂丘林は我が国屈指の規模(8)
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・砂丘の間の無数の湖沼、緑豊かな森林とユニークな景観を構成(2) ・天塩川河口から稚内まで直線に伸びる海岸線は北海道ならではの景観を展開(5) ・砂丘原生林は日本海からの厳しい風によって作られた特異な景観(7) ・砂丘列と砂丘林の間にいくつもの細長い湖沼を挟む独特の景観特質を形成(8) ・激しい風を受け風衝樹形を起こした林は特殊な景観の象徴(9)
生態系	

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「海岸砂丘」に関する評価キーワードのクロス表

「自然環境」と「利用」の評価資料をもとに作成

利用 自然環境	観賞	観察	眺望	登山	ウォーキング ・トレッキング	季節を味わう	オリエン テーリング	キャンプ	その他
植物	・砂丘林 ・ミズナラ林								
動物	・優れた生物相	・野生動物							
地理	・多くの湖沼								
景観	・多くの湖沼 ・海岸沿いの林				・直線的景観				
生態系									
その他	・夕日	・アザラシ	・利尻山		・ <u>散策路未整備</u>	・春の花見			

※表中下線は「マイナスの評価」を表す。

利用に対する評価調査資料一覧(海岸砂丘)

整理番号	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード					
					観察	眺望	トレック	ドライブ	鑑賞	
1	利尻・礼文・サロベツの自然観察	1996.6	(財)日本自然保護協会	長大な自然海岸と砂丘列、その内陸側に発達した広大な泥炭地。そこに成立した海岸草原、砂丘林、湿原などの植生の変化や景観。これら多様な環境に生息する多彩な野生動物たちが観察できます。	観察					
2	日本の大自然-利尻礼文サロベツ国立公園	1995.5.15	毎日新聞社	ビュー・スポット【稚内西海岸】海のそびえる富士-利尻山を望む日本海に面する南北20kmの海岸線で、利尻礼文サロベツ国立公園の中でも1、2を争う景勝地です。(中略)風と戯れて微妙に変化する砂丘と花々の饗宴は訪れる人々の目と心をとらえて離しません。	眺望					
3	じゃらん	2006.2	リクルート	冬の国立公園 ・利尻富士をバックに、抜海港で寝ころぶゴマフアザラシを見に行こう。 ・草が枯れ湿地もしばれる冬は、夏に入れない場所も散策できるプログラム有。	観察	トレック				
4	CampNaviHokkaido (HP)	2005.1		(中略)この道の東側にはミズナラ林に覆われた海岸砂丘が細長く連なり、その中には多くの沼が点在していて長沼群とも呼ばれている。とても興味深い場所なのだが、残念なことに散策路も整備されていない、ほとんどが立入不可能な場所となっている。	観察	ドライブ	トレック			
5	NPO法人エンビジョン環境保全事務所 (HP)	2005.4.7	NPO法人エンビジョン環境保全事務所	(中略)砂丘林の中に点在する湖沼群も含め、その生物相には特筆すべきものが多い。地元においてはその貴重性が十分認識されているものの、その存在を知る来訪者は少ない。	観察	鑑賞	ドライブ			
6	個人HP			(中略)ここからもどること約1キロ。小さな「保安林」の看板だけが目印の小道があります。ろくな道標すらないこの道にはいと、途中からは樹が生い茂り、薄暗くなってきます。その様な中に点在する湿地や沼、そこだけがぽっかりと穴を明けたように明るくなっています。	散歩					
7	なまら蝦夷	2004.4.20	北海道なまら宿主たち50人	海岸沿いに咲く花もいけれど、忘れてはならないのがここから見る夕日。ただ海に沈んだり空が焼けたりするだけでなく、利尻がシルエットととなって浮かび上がるのが最大のポイントです。	観察	眺望				
8	豊富町史	1986.03.20	豊富町史編さん委員会	原生砂丘林は、(中略)海岸に最も接近している防風林で柏の木が海岸に帯状に生育しているが、海面から吹き上げる塩風のため一様に東になびいている。その柏の灌木の間を広く縫うように所々に桜が育ち、春ともなればすばらしい花見の場所ともなる。(P.989)	トレック	眺望				
9	稚内市史	1999.01.31	稚内市	こうほねの家／(前略)屋上からは日本海の利尻富士・礼文島と夕日が見られる。近くに俳優・森繁久弥の歌碑(自然石、高さ4メートル、幅一、八メートル)がある。(P.965)	眺望					
10	稚内市史	1999.01.31	稚内市	夕日が丘パーキング(坂の下)ノシャップ岬、こうほねの家などとともに、利尻・礼文の展望、日本海の夕日の名所として知られる。(中略)稚内の西海岸一帯は同四年に、日本海の風景百選に選ばれている。(P.965)	眺望					
11	ホームページ	CampNaviHokkaido (HP)	2005.1	(中略)ここで紹介している場所は、全体が利尻礼文サロベツ国立公園に指定されているが、コウホネの家以外は何も無いと言って良いだろう。それでも、道路を車で走るだけでも感動を味わえて、海岸砂丘林にその中の長沼群、エゾカンゾウの大群落など秘められた魅力たっぷりの場所である。	観察	ドライブ				
12	市町要覧	とよとみ暮らし辞典	2003	(稚咲内海岸は)海岸沿いになだらかに続く人気のドライブコース。最大の魅力は人工物や視界を遮るものが全くなく、広い空、青い海、日本海に浮かび上がる秀峰利尻富士など大自然を満喫できることです。(後略)	眺望					

自然環境に対する評価調査資料一覧(海岸砂丘)

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード				
						植物	動物	地理	景観	生態系
1	報告書	上サロベツ自然再生全体構想	2006.2	上サロベツ自然再生協議会	砂丘林内の湖沼群では、水位低下による湖沼水面の減少や消失等の課題がある。特異な水環境を保持している砂丘林周辺で実施する排水路や道路・河川の整備は、湖沼群の水環境に重大な影響を及ぼす可能性がある。			○		
2	報告書	最北の秘境-国立公園利尻礼文サロベツ	1974	宗谷観光連絡協議会編集委員会	稚咲内砂丘林地区は海岸に平行した数条の砂丘の間に無数の湖沼が断続し、その周辺はトマツ、エゾマツ、イタヤ、カエデ、ミズナラなどを混えた緑豊かな森林となり、極めてユニークな景観を構成している。	○			○	
3	市町史	稚内市史	1999.01.31	稚内市	こうほね沼…利尻礼文サロベツ国立公園内の浜勇知にある広さ約一六〇〇平方メートルの小さな沼で、道北では貴重なネムロコウホネなどおよそ一五〇種の動植物が確認されている。(P.964)	○	○			
4	市町史	新幌延町史	2000.12.12	幌延町	北方の豊富町域まで伸びる海岸砂丘や天塩川中流の中川地方までを含めると、この地域には少なくとも4倍のオジロワシが繁殖しており、これは幌延町周辺の自然環境が今でもすぐれた状態で保存されていることを示す良い指標であるといえる。(P.38)		○			
5	市町史	新幌延町史	2000.12.12	幌延町	天塩川河口から稚内近くまでほぼ直線状に延びる40数kmにわたる海岸線は、まさに北海道ならではの景観を展開している。海岸線は平行する高さ5~10mの砂丘列を伴い、ミズナラやトマツの砂丘林が続く。海上には遠く利尻富士や礼文島を望み、海岸線にはエゾスカシユリ・エゾノシシウド・ハマナスなどのお花畑が続いている。(P.1230)	○		○	○	
6	市町史	新幌延町史	2000.12.12	幌延町	砂丘状には砂丘林と呼ばれる林が形成され、帯状に発達している。トマツを主体としておよそ30種の樹種を交え、北国特有の針・広混交林を形づくっている。また林内には数えきれない大小の湖沼が散在し、足を踏み入れることが困難であるが、そのためかえって静寂な秘境が保たれている。(P.1231)	○		○		
7	市町要覧	とよとみ暮らし辞典	2003	豊富町	稚咲内とサロベツ湿原の間にある砂丘原生林(モンゴリナラ林)は、日本海からの厳しい風によって作られた特異な景観を連ねています。				○	
8	ガイドブック	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	特筆すべきものとして、(中略)稚内市から豊富町にかけての長大な海岸砂丘とその上に成立した砂丘林、(中略)また、サロベツ原野と日本海の間延々40数kmに渡って続く砂丘列と砂丘林は、間にいくつもの細長い湖沼を挟むという独特の景観特質を合わせ持つとともにわが国屈指の規模を誇っている。			○	○	
9	HP	豊富町観光協会HP	-	豊富町観光協会	日本の海岸砂丘林の中で、もっとも優れてると称される豊富の海岸砂丘列。とりわけ目を引くのが、最前列のミズナラ林です。海岸からの激しい風をうけて強い風衝樹形を起こした林は、砂丘林の特殊な景観を象徴しています。	○			○	

「サロベツ」の利用に対する評価

キーワード	プラス評価	マイナス評価
観賞	<ul style="list-style-type: none"> ・車利用でも、サロベツ西海岸部縦断道路から沿道の景観を楽しむことができる(1) ・北海道らしい雄大な景色(13) ・花々が見られなかったとしても、それはそれでかなりの価値(14) ・極めつけは上空から原野を見下ろす時(16) 	<ul style="list-style-type: none"> ・時期が悪いとわたしのように草原を見ることになってしまう(14) ・人気のない、強風で沼面が波立ち、茶色く濁ったパンケ沼(15)
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な高山植物が生息していることも大きな特徴(4) ・長大な自然海岸と砂丘列、その内陸側に発達した広大な泥炭地(5) ・我が国屈指の野鳥の生息地として知られ、渡り鳥のコースにもなっている(8) ・木道を歩きながら野鳥や植物などを野外で観察(9) ・100種類以上の湿生植物・高山植物やキタキツネなどの野生動物に出会える(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の時期だけでなく、通年を通して魅力あるものにしていくことが課題(7)
眺望	<ul style="list-style-type: none"> ・360度見回してずっと草原(14) ・一望果てしなく続く平原と大空は、単調の極限で見事に調和(18) ・大陸的異国ムード(18) 	
登山		
ウォーキング ・トレッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を味わう最もよい方法は、サロベツの木道などを歩くこと(1) ・自然探勝路が整備されている(9) ・草のかおりを体に浴びてサイクリング(12) ・遊歩道が整備されていて、歩きやすい(13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用は大半が通過型の形態(6) ・広域農道が網の目のようにあり、よほど注意しないと道を間違える(15)
季節を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・秋は一面の草紅葉、渡り鳥の群。冬はモノトーンの世界、白く輝く利尻富士と、四季折々の表情(17) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花は無く草原(13)
オリエンテーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・湿原の仕組みや野鳥の生態など分かりやすく紹介(8) ・湿原を中心とした地域の自然環境の特性やしぐみについて、学び体験(11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光と教育の資源として活用が十分に図られていない(6)
キャンプ		

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「サロベツ」の自然環境に対する評価

植物	<ul style="list-style-type: none"> ・湿原植生は水環境で支えられており、周辺開発の影響を受けやすい(2) ・人為的な泥炭採掘後の植生回復は、本来の植生と異なることが明らかになった(3) ・湿原の乾燥化は泥炭を変化させ、地表植生、ササ類の侵入など植生環境に影響を与えている(7) ・丸山南側の泥炭採取跡地に植生の回復の進まない部分が残っている(9) ・湿原植生が他に例を見ない規模で分布している(11) ・エゾカンゾウなどが発生した見渡す限りの大群落が見られる(13) ・原生花の宝庫であり、野生の花々が最北の大地をカラフルに染める(16)
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類はトガリネズミ類が優先(5) ・鳥類の繁殖地として利用されている(5) ・コモチカナヘビは低木本類、スゲ、ヨシが優先する湿原で観察された(5) ・湿地溝の一部に発達した水域には3種の魚類が確認された(5) ・鳥類相は多様で、構成の異なる草原ごとにやや異なった鳥類相がみられる(19) ・秋の野鳥の渡りの時期は野鳥の楽園となる(20)
地理	<ul style="list-style-type: none"> ・過去20年で湿原面積の14%がササ地に変化、降水降雪量の16%が地下水へ涵養されていると分析(1) ・サロベツ湿原は公園境界間際まで草地造成が行われており、緩衝帯となる植生帯が無く、水環境に大きな影響を与えている(2) ・泥炭湿原は中央から同心円上に高層湿原が発達している特徴がある(2)(22) ・泥炭地の形成過程を見ることができる貴重な場所(6) ・湿原の一部において多様な人間活動の影響により地下水位が低下し、乾燥化が進んでいる(7) ・ペンケ沼では土砂が流入、汚染物質や栄養塩が流入し湖沼環境が変化(8) ・高層湿原は、低平地では日本最大(11) ・釧路湿原との違いは高層湿原を多く持っている点(14) ・石狩や釧路とともに北海道の三大泥炭地を成している(15) ・日本に残された数少ない低地湿原(22)
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻山を遠景に添えた広大なサロベツ湿原の水平景観は特筆すべきもの(6)(22) ・原生花園の美しい彩りと遠くにかすむ利尻富士のコントラストは見事(17) ・水平的大景観の乏しい日本では、数少ない大湿原の一つで、地平線を望むことができる(23)
生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・サロベツ湿原の生態系を保全するためには、十分な保存エリアを確保することが重要(2) ・水質に人為的要因とみられる変化(アンモニア窒素の増加)が進んでいる(4) ・湿原内河川や湖沼の水質汚濁は自然生態系を劣化させている(8) ・植物の残遺体が堆積したサロベツ泥炭地は希少な野生動植物が生息するなど、独特な生物多様性が高く評価される(10) ・生物地理区の生物多様性を維持するのに重要な湿地(12) ・海岸砂丘から大湿原にかけての自然環境は現在でもよく保存されている(18)

※各項目内の()は、別添調査資料の番号と対応する。

「サロベツ」に関する評価キーワードのクロス表

「自然環境」と「利用」の評価資料をもとに作成

利用 自然環境	観賞	観察	眺望	登山	ウォーキング ・トレッキング	季節を味わう	オリエン テーリング	キャンプ	その他
植物	・原生花	・泥炭地 ・湿性植物							
動物		・野鳥(渡り鳥) ・野生動物							
地理		・泥炭地				・湿原 ・ <u>何も無い湿原</u>			・笹 ・高層湿原 ・乾燥化 ・低地湿原 ・ペンケ沼土砂流入
景観	・原生花		・水平景観 ・地平線						・泥炭地
生態系		・多様な生態系							・水質 ・生物多様性
その他	・ <u>シーズンが限定</u>	・ <u>シーズンが限定</u>			・ <u>木道</u> ・ <u>通過型の利用</u> ・ <u>農道が煩雑</u> ・ <u>サイクリング</u>		・VC ・ <u>VC活用不十分</u>		

※表中下線は「マイナスの評価」を表す。

利用に対する評価調査資料一覧(サロベツ)

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード			
						トレック	眺望	旅行	その他
1	ガイドブック	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	景観を味わう最もよい方法は、サロベツの木道などを歩くことだが、車利用でも、サロベツ西海岸部縦断道路から沿道の景観を楽しむことができる。	トレック	眺望		
2	報告書	第4回北海道観光産業経済効果調査	2006.03	北海道観光産業経済効果調査委員会	本調査結果の特徴として、 ①北海道民の観光行動は「日帰り」が最も多い ②道北への観光は「札幌圏」「上川・空知」からが多く、「道北」(地元)からの観光は少ない ③観光消費では「買い物関係」がトップ ④観光消費の生産波及効果は「サービス業」が多く、次いで「製造」「運輸」「小売業」の順となっている。	旅行	その他		
3	報告書	北海道観光入込客数調査報告書	2006	北海道ホームページ	本調査結果では下記4町間に観光客入込総数の大差は認められなかったが、外国人宿泊者数において特徴が見られた。 ①豊富町・利尻富士町では「台湾」からの宿泊者が最も多い ②礼文町・利尻町では外国人宿泊数が少ない。	旅行			
4	ガイドブック	サロベツ		豊富町観光協会	(中略)サロベツ湿原の標高は大部分が5m以下の低地ですが、日本の北部に位置するためワスゲやエゾイソツツジなどの貴重な高山植物が生息していることも大きな特徴です。	観察	季節	眺望	
5	ガイドブック	利尻・礼文・サロベツの自然観察	1996.6	(財)日本自然保護協会	長大な自然海岸と砂丘列、その内陸側に発達した広大な泥炭地。そこに成立した海岸草原、砂丘林、湿原などの植生の変化や景観。これら多様な環境に生息する多彩な野生動物たちが観察できます。	観察			
6	報告書	上サロベツ自然再生全体構想	2006.2	上サロベツ自然再生協議会	上サロベツ湿原は年間30万人が訪れる道北の名所であるが、その利用は大半が通過型の形態にあり、観光と教育の資源として活用が十分に図られていない。このため、滞在型・体験型利用形態への転換が課題となっている。	ドライブ			
7	検討会資料	第2回 シーニックバイウェイ北海道推進協議会	2006.4.18	推進協議会構成機関からの意見	サロベツナチュラルロードについては、(中略)花の時期だけでなく、通年を通して魅力あるものにしていくことが課題となっている。	鑑賞			
8	一般書籍	日本の大自然-利尻礼文サロベツ国立公園	1995.5.15	毎日新聞社	ビュー・スポット-サロベツ原野-ここの一体は我が国屈指の野鳥の生息地として知られ、渡り鳥のコースにもなっているため、渡りの季節にはガン・カモ類をたくさん見ることができます。	観察			
9	一般書籍	日本の大自然-利尻礼文サロベツ国立公園	1995.5.15	毎日新聞社	ビュー・スポット【幌延ビジターセンター】パンケ沼の南方にあり、湿原の仕組みや野鳥の生態などについて、パネル展示、マルチスライド映像などを用いて分かりやすく紹介しています。(中略)さらにビジターセンターから長沼までの湿原のなかを下サロベツ原野自然探勝路が整備されているので木道を歩きながら野鳥や植物などを野外で実際に観察でき、より深く自然と触れ合うことができます。	観察	トレック	オリエン	
10	雑誌	るるぶ	2006.3.1	JTBパブリッシング	エゾカンゾウなど100種類以上の湿生植物・高山植物やキタキツネなどの野生動物に出会える。	観察	鑑賞		
11	報告書	サロベツ再生構想	2004		サロベツ湿原は年間30万人近くの利用者が訪れる国立公園の核心部であり、ここで行われる自然再生の過程に触れること等を通じて、湿原を中心とした地域の自然環境の特性やしぐみについて、学び体験する場所として活用する。	オリエン			
12	ホームページ	北海道旅情報(HP)	<不明>	個人HP	(中略)草のかおりを体に浴びてサイクリングを楽しむことをお勧めします。ルートとしては稚内-ノサップ-抜海-浜勇知-国道40-稚内か、豊富-宮の台-兜沼-浜勇知-稚内-原生花園-豊富がいいでしょう。稚内で自転車を借りるにはモシリパYHが便利、豊富では駅前にレンタサイクルがあります。空の青さと大地の広さを実感することができます。	サイクル			

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード			
						観察	散歩	鑑賞	眺望
13	ホームページ	個人HP		個人HP	(中略)さて、いよいよサロベツの原生花園を歩くことにした。木道の遊歩道が整備されていて、歩きやすい。1周は1.1kmほどのことで、普通に歩いても20-30分程度、ゆっくり歩いても1時間程度あればいいだろう。 前述の通り残念ながらエゾカンゾウなどの花は無く草原だったのだが、北海道らしい雄大な景色を見ることができた。また、ここからも利尻富士の美しい姿を見ることができ、一面の草原にアクセントを添えていた。(後略)	観察	散歩		
14	ホームページ	個人HP		個人HP	(前略)また、時期が悪いとわたしのように草原を見ることになってしまう。360度見回してずっと草原、というのは、コンクリートジャングルに住むものにとっては驚きである。花々が見られなかったとしても、それはそれでかなりの価値があったと思っている。(後略)	観察	散歩		
15	ホームページ	個人HP		個人HP	この後、人気のない、強風で沼面が波立ち、茶色く濁ったバンケ沼の木道、「②バンケ沼畔自然探勝路」を散策。この辺りには、あの有名な広域農道が網の目のようにあり、よほど注意しないと道を間違えます。	観察	散歩	鑑賞	
16	ガイドブック	なまら蝦夷	2004.4.20	北海道なまら宿主たち50人	地上にいても原野の広さを感じることはできますが、極めつけは上空から原野を見下ろす時です。7月上旬の原生花園花祭りの時だけヘリコプターによる遊覧飛行あります。飛行機と違って高度が低いため、利尻富士が真正面に大きくそびえ、草をはむ牛の群も分かり、平坦なサロベツの大地が視界いっぱい広がって圧倒される思いです。	観察			
17	ガイドブック	なまら蝦夷	2004.4.20	北海道なまら宿主たち50人	秋は一面の草紅葉、渡り鳥の群。冬はモノトーンの世界、白く輝く利尻富士と、四季折々の表情を楽しめますよ。	観察	季節	鑑賞	
18	市町史	豊富町史	1986.03.20	豊富町史編さん委員会	このサロベツ原野は、日本における最北端に広がり東西約八キロ、南北約二七キロ、面積二万三〇〇〇ヘクタールに及び、やや長方形の大湿原地であり、その大部分は泥炭層からなっている。最北端という地理的条件から、普通では高山にしか見られない植物で覆われ、一望果てしなく続く平原と大空は、単調の極限で見事に調和し、大陸的異国ムードは、騒音と高層建築の谷間で生活する都会の人々を、魅了するに充分である。(P.991)	トレック	鑑賞	眺望	

自然環境に対する評価調査資料一覧(サロベツ)

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード				
						植物	動物	地理	景観	生態系
1	学術論文	サロベツ湿原の地下水環境と植生変化について	<不明>	寒地土木研究所	本研究ではサロベツ湿原の植生分布と水吸収を考慮した地下水シミュレーション、それによる感度分析を行った。その結果、①リモートセンシングデータから過去20年間で解析範囲内(880ha)において湿原面積の14%がササ地に変化した②降水・降雪量の16%が地下水へ涵養されている。			○		
2	学術論文	25年間におけるサロベツ湿原の変化と保全対策	1996	北海道環境科学センター	サロベツ湿原に発達する湿原の植生は同心円上になっており、湿原生態系を適正に保全するためには十分な保全エリアを確保することが重要である。特に、湿原植生は水位や水質など水環境によって支えられており、周辺の開発の影響を非常に受けやすい。サロベツ湿原は普通地域が設定されておらず、公園境界間際まで草地造成が行われており、緩衝帯となる植生帯が無く、湿原の乾燥化など水環境に大きな変化を与える要因となっている。	○		○		○
3	学術論文	サロベツ湿原における人為的攪乱後の植生回復の研究	2003	前田一步園財団	サロベツ湿原に於いて、人為的な泥炭の採掘後の植生の回復は、本来の植生と異なっていることが明らかになった。このような地帯では、泥炭採掘により土壌栄養の良い状態が作られ、本来の植生よりも旺盛な植物が進入しやすい状況となったと考えられる。また、一部には本来の植生へと戻った地帯がみられたが、それらは地下水位が高く、年間の地下水位の変動が小さいなどの特徴があった。	○				
4	学術論文	サロベツ湿原の分水・水質環境の解析	<不明> (2000年以降)	寒地土木研究所	本研究によって、サロベツ湿原上流域での水位の低下、流出高の減少が確認され、流出高の減少は積雪の減少に対応していることが推察された。また、水質では人為的要因によるみられる変化(アンモニア態窒素の増加)が進んでいる傾向が認められた。					○
5	報告書	平成15年度サロベツ地区自然再生事業自然環境調査業務報告書	2004.3	㈱地域環境計画	哺乳類: 高層湿原はその特異的環境からネズミ類及び中・大型哺乳類は少なく、トガリネズミ類が優先している。 鳥類: 繁殖期に湿原では(中略)草原性の鳥類が多く確認され、繁殖地として利用されていると考える。渡りの時期に湿原やササ群落など草原では(中略)渡りの経路として利用されていることが明らかとなった。 爬虫類・両生類: コモチカナヘビは草丈20~40cmのササ、イソツツジ、ヤチヤナギ等低木本類、スゲやヨシが優先する湿原で観察する事が出来た。(中略)これらは、変温動物であるため、ある条件以上の照度が必要で、且つ外敵から身を隠せる草丈が必要のためだと考えられる。 魚類: (前略)湿地溝の一部に発達した水域は、他の低地部の河川や湖沼と異なり、その環境特性に対応した3種の魚類を基本とした固有の魚類相が形成されていることが把握された。 昆虫類: 上サロベツ地区の高層湿原・中間湿原、ササ群落、ヨシ、ヤナギ低木等からなる二次草原、池沼等のそれぞれの立地環境に応じた昆虫相が確認された。			○		
6	報告書	上サロベツ自然再生全体構想	2006.2	上サロベツ自然再生協議会	上サロベツでは、主要な川が湿原の周縁を流れており、湿原の中央付近に位置する丸山周辺に高層湿原が広がり、それを取り囲むように中間湿原、低層湿原、湿原河川へと展開している。上サロベツ湿原はこのような泥炭地の形成過程を見ることが出来る貴重な場所であるとともに、利尻山を遠景に添えた広大な水平景観を楽しむことができる。			○	○	
7	報告書	上サロベツ自然再生全体構想	2006.2	上サロベツ自然再生協議会	上サロベツ湿原の一部では、農地造成、道路整備、河川改修等の開発や泥炭採掘等、多様な人間活動の影響により、地下水位が低下し乾燥化が進んでいる状況にある。上サロベツ湿原の乾燥化は泥炭を変化させ、それは地表植生にも影響を及ぼし、ササ類の侵入など湿原の植生環境に影響を与えている。	○		○		
8	報告書	上サロベツ自然再生全体構想	2006.2	上サロベツ自然再生協議会	ベンケ沼では、河川の切替に伴い、土砂が流入して面積が縮小するとともに、水深が浅くなった。また流域からの汚濁物質や栄養塩が流入して湖沼環境を変貌させている。湿原内河川や湖沼の水質汚濁はさらにイトウ等が生息する自然生態系を劣化させる。			○		○
9	報告書	上サロベツ自然再生全体構想	2006.2	上サロベツ自然再生協議会	1940年代の泥炭採取跡地や丸山南側における初期の採取跡地は、経年変化に伴い周囲のミズゴケの発達等から植生の回復が見られるが、丸山南側の採取跡地に大きな開水面や植生の回復の進まない部分が残っている。	○				

整理番号	種類	出典	発行日	発行	評価(記述抜粋)	キーワード				
						植物	動物	地理	景観	生態系
10	報告書	サロベツ再生構想	2004	-	4千年の時をかけて植物の残遺体が堆積して形成されたサロベツ泥炭地は生命ある土地ともいうべきで、湿原として残した泥炭地は様々なタイプの湿原域を示し、貴重、希少な野生動植物が生息するなど独特の生態系や生物多様性が高く評価される。					○
11	報告書	サロベツ再生構想	2004	-	サロベツ湿原は標式的な低位、中位、高位の3つのタイプの泥炭地の分布とそれらに伴う湿原植生が他に例をみない規模で分布している。特に高層湿原は、低平地では我が国最大のものである。	○		○		
12	検討会資料	ラムサール条約湿地検討会	2004.7	-	サロベツ原野が「生物地理区の生物多様性を維持するのに重要な湿地」として専門家より回答					○
13	市町史	豊富町史	1986.03.20	豊富町史編集委員会	周囲サロベツ川に包まれ、道道豊富、稚咲内線の両側一帯の広大なサロベツ原野には、エゾカンゾウ(中略)などが発生した見渡す限りの大群落が見られる。(P.31)	○				
14	市町史	豊富町史第二巻	2002.10.01	豊富町	サロベツ湿原は低地にある広大な湿原として釧路湿原や別寒辺牛湿原に次ぐ規模を有しているが、サロベツ湿原の場合、低地にある湿原として日本では類をみないほど、高層湿原の発達に際立っているところに大きな特徴がある。特に、豊富町側の上サロベツ原野における発達は著しい。(P.349)			○		
15	市町史	稚内市史	1999.01.31	稚内市	天塩川は雄信内から下流で蛇行しながら大氾濫原をつくっているが、これと天塩川の支流などがつくった大平原がサロベツ原野である。この原野は大部分が海拔五メートル以下で、数メートル以下の起伏をもった平坦地であり、石狩や釧路とともに北海道の三大泥炭地を成している。(P.6)			○		
16	市町史	稚内市史	1999.01.31	稚内市	サロベツ原野を主役として、稚内市とその周辺は原生花の宝庫となっている。春の訪れの五月ごろから八月下旬ごろまで、色とりどりの野生の花々が、最北の大地をカラフルに染める。(P.965)	○				
17	市町史	稚内市史	1999.01.31	稚内市	ミズバショウ・ツルコケモモ・ハマナスなど多種多様な花を五～八月に見ることができる。これら原生花園の美しい彩りと、遠くにかすむ利尻富士のコントラストは見事で、夕日と並んで感動的な景観を提供している。(P.968)	○			○	
18	市町史	新幌延町史	2000.12.12	幌延町	海岸砂丘から大湿原にかけての自然環境は現在でもよく保存されており、したがって、この地域は北海道の特徴的な動物相の一半を1つのセットとして見る事ができる貴重な場所となっている。(P.37)					○
19	市町史	新幌延町史	2000.12.12	幌延町	サロベツ湿原では高層湿原から低層湿原まで、発達段階の異なる湿原草原が大規模に存在しており、一部牧草地化されたところも含めて、広大な草原地帯がある。この付近の鳥類相は多様で、また、構成の異なる草原ごとにやや異なった鳥類相が見られる。(P.41)		○			
20	市町史	新幌延町史	2000.12.12	幌延町	サロベツ原野は連続した泥炭地としては我が国最大の面積を持っている。(中略)幌延町の域内には、パンケ沼、パンケ沼(豊富町にまたがる)及び長沼が存在し、マガモ・アカエリカイツブリなどの繁殖地として、また秋の渡りの時期には数千羽ものオオヒシクイが飛来するなど、野鳥の楽園となっている。(P.1230)		○			
21	市町史	新幌延町史	2000.12.12	幌延町	町ではパンケ沼に木道と野鳥観察舎を整備し訪問者の自然観察に利便を提供している。木道はパンケ沼畔自然探勝路と命名され、野鳥観察愛好者の訪れが多い。(P.1231)		○			○
22	ガイドブック	国立公園図鑑	1995.11.20	大蔵省印刷局	(前略)サロベツ原野がわが国に残された数少ない低地湿原の一つで、学術上、景観上きわめて貴重なものとされていることにある。特筆すべきものとして、(中略)利尻山を遠景に添えた広大なサロベツ湿原の水平景観の他、(中略)サロベツ原野は全体で約2万haの泥炭湿原地域であり、その大きな特徴は主要な川が原野の中央部を貫通せず周縁を流れているところにある。このため原野のほぼ真ん中にある洪積大地円山から同心円上に高層湿原が発達し、周縁に向かって中間湿原、低層湿原へと展開している。			○	○	
23	ガイドブック	最北の秘境-国立公園利尻礼文サロベツ	1974	宗谷観光連絡協議会編集委員会	サロベツ原野は水平的大風景の乏しい日本ではまことに数少ない大湿原で、その一角に立てば、家なみも煙突も、そして山なみも見えない、けがれを知らぬ地平線を望むことができる。(中略)とくにサロベツは釧路湿原にくらべその泥炭形成の状態が、いわゆる高層湿原をより多くもっているところに特徴がある。			○	○	